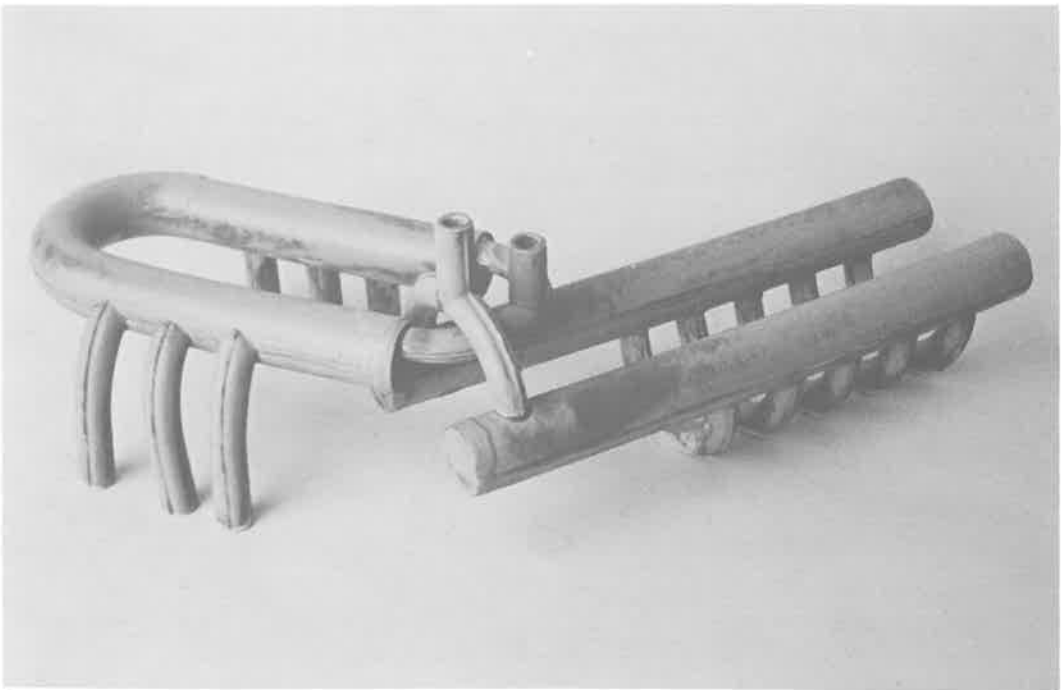


87企画-6 奥田 実 クレイ・ワーク展 7月7日(火) - 7月26日(日) (月曜休廊)

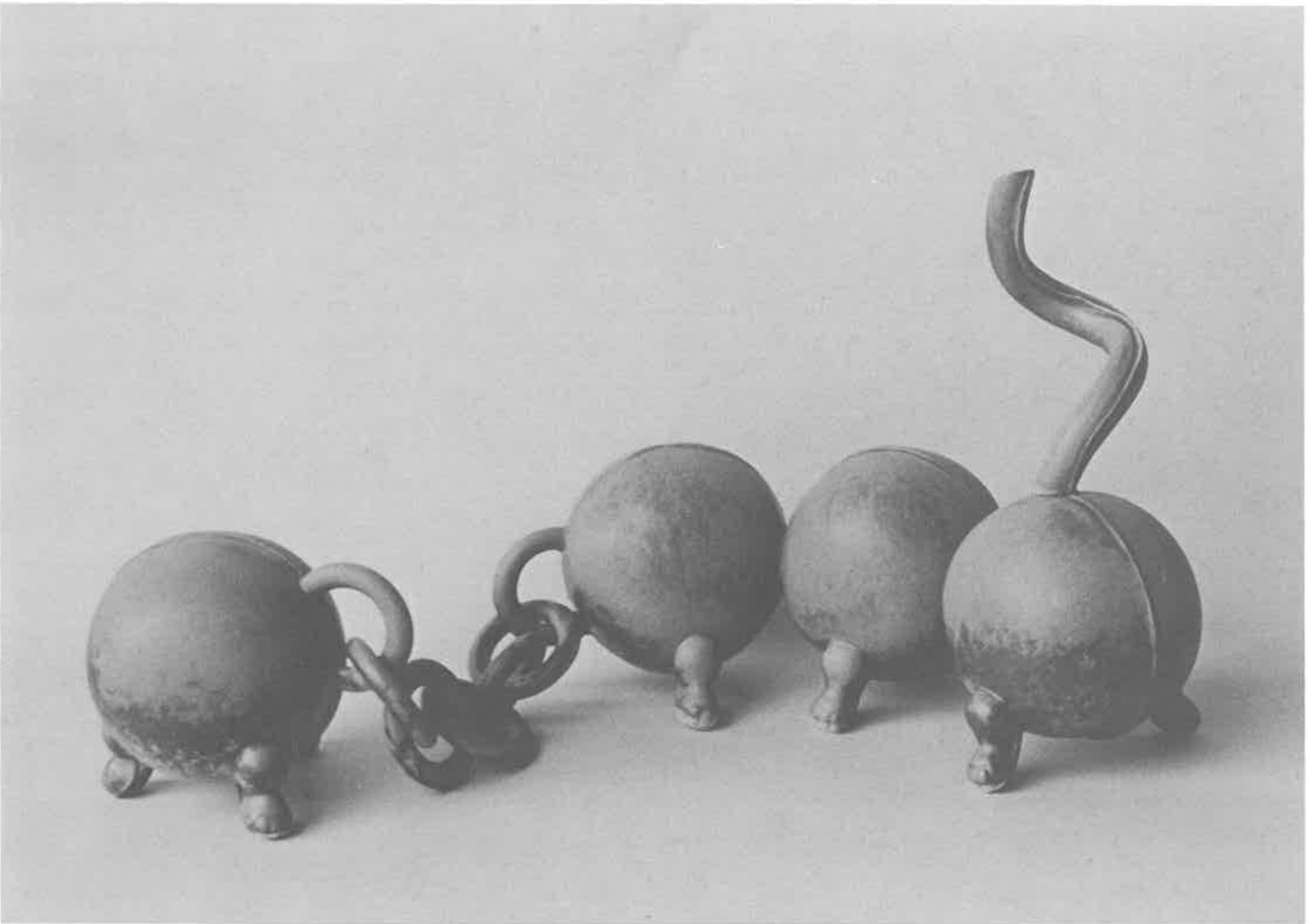
GALLERY TAKUMI



銅青釉の器 1987 D16×W43×H18cm



銅青釉の器 1987 D26×W22×H16cm



銅青釉の器 1987 D13×W46×H21cm

## ■ 箱

上・下・左・右・後

床・壁・天井

1986年春、改装なった“匠”の奥に佇み眺め回した時、前方にしか開かれていない空間、直ぐ様それを舞台に擬えていた。舞台監督を夢見た事もある私は、まるで舞台装置でも組む様に、いそいそと個展の構想を練り始めた。そしてひと月の個展の間中、幾度となく作品の置かれた空間に向かった、唯一つ開かれた面を背にして。一方にのみ開かれた空間、その一方を背にして立てば、その一方さえも閉じてしまえば。その時から、塞がれた画廊の白い空間は容易に箱の内側と化し、また新たな念いを象り始めた。

## ■ 土

土は軽い、

更に佻い、

土は浮く、

土は薄い。

## ■ 極

扁壺はより扁たく、

筒花入はより長く、

獣足はより多く。

## ■ 用

昨日の陶芸家は如何に用を否定するかに腐心した。

今日の彼はどんな奇妙なものにも用を見出そうとする。

明日の彼は……それは風に聞け！



個展会場風景 1986年9月 於 西郷匠



銅青釉の器 1987 D20×W21×H26cm